



2024 第31回 日本海藻協会シンポジウム

## 能登の海藻と利用

～能登半島震災からの復興を祈念して～

日 時： 2024年11月15日(金)13:30-16:50

会 場： 東京海洋大学薬水会館1F大講義室・(東京都港区港南4-5-7)

参加費： 無 料 (講演要旨集は主催会員のみ無料, 主催会員外は2,000円)

主 催： 日本海藻協会 協 賛： 海藻活用研究会

13:00 開場

司会 日本海藻協会理事 白石展子

13:30 - 13:50 開会のあいさつ 続いて  
能登半島の海藻相と能登半島地震

日本海藻協会会長 藤田大介

13:50 - 14:30 輪島地区の藻場および海女漁に対する震災の影響

個人事務所 わじま海藻ラボ 石川竜子

14:30 - 14:45 休憩

14:45 - 15:25 能登の海藻食文化と震災の影響

石川県水産総合センター 池森貴彦

15:25 - 16:05 能登沿岸(里海)海藻の機能性

一次世代プレバイオティクス素材としての褐藻類一

東京海洋大学 久田 孝

16:05 - 16:15 休憩・総合討論準備

16:15 - 16:45 総合討論

閉会のあいさつ

日本海藻協会理事長 小野晁生

17:15～ 懇親会 主催会員1名無料, 2名以降4,000円, 協賛会員4,000円, 非会員5,000円, 学生2,000円

### <企画趣旨>

日本海に長く突き出た能登半島は岩礁域が多く、海藻が豊富で、古来、四季折々の豊かな海藻食文化があることで知られている。輪島を中心とした海女の漁は沖合の七ツ島、舳倉島にも及び、北陸の天然海藻・磯根資源漁の象徴的存在となっている。2024年元旦に発生した「令和6年能登半島地震」は、マグニチュード7.6、最大震度7を記録した大型の内陸地殻内地震で、外浦側の隆起や津波、内浦側や山間部も含めた地割れや土砂崩れ、家屋崩壊、道路網の遮断、漁港や関連施設の崩壊や港口閉塞などを引き起こした。深刻な過疎地域となっていたこともあり、半年を経過した今でも復興が遅れていることはしばしば報じられているが、水産業への影響も深刻である。今回は、石川県在住または在住経験者が能登半島の海藻、藻場、海藻食文化、地域特産海藻の成分などを振り返るとともに、震災の影響や今後の支援について論じる。

参加者は、所属、懇親会の参加の有無も書き添えて、11月8日(金)までにお申し込み下さい。  
可能な限り、事前申し込みをお願いします。HPからもお申込み可能です。

<https://japan-kaiso-association.com/symposium>



申し込み先・問い合わせ先：日本海藻協会事務局(小野 晁生)

E-mail: [otoiawase@japan-kaiso-association.com](mailto:otoiawase@japan-kaiso-association.com)